

兵庫保険医新聞

第1471号 発行所 兵庫県保険医協会
2005年10月15日 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

協会学習会「憲法の『心』を読む」

平和の理念 肌で感じて



▲大原穂子さんは女優で、プロの方言指導者として有名

難解な法律用語ではなく、お国言葉に翻訳することで、大原氏は憲法を親しみやすく、身近な日々の暮らしの中に生きいきと表現した



協会学習会「憲法の『心』を読む」が10月2日、協会会議室で開催され、医科・歯科会員、コメディカル、市民ら102人が参加。J・ユンカーマン監督作品のドキュメンタリー映画「日本国憲法」を鑑賞するとともに、女優で方言指導者の大原穂子さんの講演「お国言葉で憲法を」に耳を傾け、日本国憲法の民主的・平和的原則の大切さを確認しあった。

今号の記事	
神戸市長選挙座談会 脱開発主義で「医療・福祉」のまちへ	2面
選挙投稿特集 神戸再生にむけて	3面
研究面 電子カルテ導入騒動記	6面

医師・歯科医師の安心をサポート

保険医年金 締め切り迫る(10/25)!!

(広告3面)

第68回評議員会 第28回共済制度委員会
臨時(決算)総会

- ◆11月20日(日) 13時~/兵庫県農業会館(元町・神戸)
- ◆特別講演 「新自由主義改革と日本の行方(仮)」
二宮 厚美 神戸大学教授

大原氏のやわらかで暖かな憲法表現に、参加者からは「憲法の『心』が胸におちた」などの感想とともに、熱い拍手が送られた。

映画「日本国憲法」では、元海兵隊員で元津田塾大学教授のD・ラミス氏、歴史家・日本研究者のJ・ダワー氏、GHQ職員として日本国憲法案を起草したB・S・ゴードン女史、元カリフォルニア大学教授でCIA顧問のC・ジョンソン氏、言語学の権威、N・チョムスキーMIT教授ら

ながら、その言葉に込められた理想・想いを「実感を持って感じられる」ように表現した。「第9条、『…はいじゃけな、どがーな理由があることも、戦争は絶対にこれからはやらん、いうことを誓ったんです。…軍備をもっとやー戦争はできんじやろ。兵隊さんもうらんじやろ。それからもうひとつ、わたしの政府が、戦争をやるいう権利も絶対に認めやーせん。ない、あんなら、これが第9条の戦争の放棄いうことなんよ。』」

第14回日常診療経験交流会

「いのちかがやけ ~明るい医療をめざして」

10月23日(日) 10時~17時/兵庫県農業会館 11階ホールほか

- ◆市民公開・記念講演 15時~17時
「笑いと健康」
関西演芸作家協会顧問・日本笑い学会副会長 織田 正吉氏
- ◆分科会 10時~12時
メインテーマ関連、日常診療・在宅ケアでの経験など
- ◆医科・歯科交流企画 13時20分~14時50分
「一生おいしく食べるには~口腔ケアと全身疾患」
- ◆救急蘇生実技講習会 13時15分~14時45分
「人工呼吸・心臓マッサージ(BLS)」
「AED(自動体外式除細動器)」
「気道確保・挿管」「医薬品」の4コーナーを設けて実習。
- ◆並行企画 10時~17時
ポスターセッション、医院新聞展示、情報ネットワークコーナー、救急蘇生用AED展示、文化展示会ほか
- ◆参加無料(昼食代1,000円、懇親会3,000円は実費)

お申し込みは ☎078-393-1803まで

神戸再生

“開発から福祉へ転換を”

せと恵子市長候補が決意

協会・神戸支部が支持する瀬戸恵子神戸市長選挙候補の共同決起集会が10月4日、神戸市勤労会館大ホールで開かれ、瀬戸候補を支援する市民ら400人以上が参加。同候補を擁立した「神戸再生」や政党的代

で他国を軍事的に制圧しようとする国にはかならず、憲法9条の否定は謝罪を認める『普通の国』とは、『9条こそは、侵略と残虐行為についての東アジア』などと語りかけた。

大震災直後、被災した市民らに対して当時の市長が「神戸空港建設は進める」と言ったことは今も許せない」とし、「4年前の選挙で『開発から環境・福祉へ』と公約したことを何も守っていない」と現市政を批判。「私が市長になれば、神戸空港に象徴される大型開発優先と市民福祉の大幅切り捨てという今の市政を転換し、子育て支援や福祉優先の市政を必ず実現する」と決意表明した。

「ストップ！神戸空港」の会代表の武村義人協会副理事長は激励のあいさつで、「矢田市政は中央市民病院をさらに遠くに移動し、病床数を削減するというのが、救命率が低下し入院が困難になるなど、市民が利用しにくい病院になる。瀬戸候補を必ず当選させ、移転を中止させよう」と参加者らによびかけた。

第14回日常診療経験交流会プログラム 4面

燭心

例年台風被害に悩まされる日本列島、昨年は直撃型が多く、また集中豪雨に加え地震も発生し、大災難だった。年々局所集中豪雨の傾向が強まっている。アメリカではカトリック、リタというハリケーンが猛威をふるった。被害の全貌はいまだ明らかにはなっていない。何故ハリケーンが女性名なのか、神秘さ？偉大さ？やはり恐ろしさ？▼それにしてもニューオーリンズの被害は想像を絶するものがある。元々海抜以下の地域、以前より堤防の危険性は指摘されていたという。結局財政難のために対応ができていなかった。正義の戦いとして武力には財政を投じる一方で、貧しい部分は見殺しにする悲しい現実だ▼水没した家屋の捜索に、ライフルの銃口を向けて行われる人命救助、半ば公然と行われる略奪行為。精油所の被害で投機が起り、原油高に拍車がかかる。銃社会、拡大する貧富の差、人の災難でも何でも金儲けのネタにする新自由主義。アメリカ社会の矛盾が凝縮して見える▼周知のように地球温暖化が進んでいる。地上の氷が減少し海面が上昇し、水没する地域も現れはじめている。海流の変化、海水温の変化で異常気象が地球規模で起きている。集中豪雨が頻繁に発生する一方、大地の砂漠化も進行している。炭酸ガス排出抑制に向けた約束、京都議定書、ブッシュ大統領がこれに背を向けたことは記憶に新しい。巨大ハリケーンも異常気象の一現象である。地球の発した警告と信じて。 (無)